

実習内容
ならびに
スケジュール

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション 手術見学 耳鼻咽喉科総論	伏見 寺田 篠田 中村 福武 都築	8:50 10:00 16:00	耳鼻咽喉科医局 手術室 カンファレンス室
火	担当症例プレゼン準備 教授回診 診察法実習 症例検討会	任 都築 廣瀬、レジデント 都築	9:00 14:00 15:15 16:00	カンファレンス室 9東病棟 耳鼻咽喉科外来 9東病棟
水	手術見学	都築、美内、伏見、斎藤 廣瀬、西村、河野	9:00	手術室
木	外来見学（初診・漢方外来） 聴力検査実習 検査実習、診察法実習	任、美内 河野、福武 梅本、辻	9:00 13:00 13:40	耳鼻咽喉科外来 耳鼻咽喉科外来 カンファレンス室
金	外来見学 難聴講義 国試演習 平衡機能検査 総括	寺田、西村、中村 矢崎言語聴覚士 廣瀬 大田 美内	9:00 13:00 14:10 15:15 16:00	耳鼻咽喉科外来 言語室 カンファレンス室 耳鼻科外来 カンファレンス室

◎ 診療科名： 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

◎ 責任者氏名： 都築 建三 主任教授

◎ 指導教員氏名： 任 智美 講師

◎ 実習概要

1.カンファレンス、2.教授回診、3.病棟実習、4.クルズス、5.模擬実習（耳鏡・鼻鏡の使い方）、6.模擬実習（喉頭ファイバー）、7.外来見学、8.手術見学、9.味覚検査、平衡機能検査、顔面麻痺検査の実習、10.臨床研究参加などを行い、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の患者の基本的診察法ができる。
- 基本的な検査ができ、所見が読める。
- 治療計画を立てることができる。
- 患者の性格、社会的背景や立場を理解し、対応ができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 3年次の講義資料をよく復習すること（2日）
- 聴力検査の所見が読めるようになること（30分程度）

◎ 評価方法

(知識、技術、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患について治療計画を説明できる。	代表的な疾患についてアセスメントができる。	代表的な疾患の概略を説明できる。	一部の疾患について理解している。
	担当疾患に関して適切な考察の中に独創的な意見が述べられる。	国家試験レベルは十分理解し、担当疾患に対する考察ができる。	担当疾患に対する考察はしているが、一部不十分である。	担当疾患に対する十分な考察ができない。
技術	解剖を理解し、医師と同レベルに適切に手技ができ、所見が説明できる。	基本的な診察を実施し、適切な所見をとることができる。	基本的な診察ができる。	適切に患者さんから話を聞くことができるが診察が適切にできていない。
	後輩に診察法や検査を指導できる。	必要な検査を実施し、結果を説明できる。	必要な検査を実施できるが、所見の解釈ができない。	必要な検査実施に関する理解がされていない。
態度	論文を調べ、引用することができる。	積極的で質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的。	消極的で質問がない。
	患者さんから信頼されている。	患者さんと適切な関係が築ける。	患者さんの観察（特に術後）が不十分である。	患者さんとのコミュニケーションがとれず、不信感を抱かせる。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

火曜日午前、質問方式で担当症例を供覧。

火曜日午後、医局カンファレンスにおいて担当症例のプレゼンテーション。

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- ・初日は8時50分に8号館5階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局に集合すること。
- ・秘書からIP電話と予定表を受け取ること。
- ・水曜日手術担当症例は時間がずれることがあるので、その度状況を主治医に確認すること。